

第5回 運転管理検討会 議事録

1. 開催日時：平成18年6月13日(火) 10:00～11:45
2. 開催場所：日本電気協会 4階 C会議室
3. 参加者 (順不同, 敬称略)
委員：濱名・田中(東京電力), 坂元(関西電力), 浪越(北海道電力), 梶田(中部電力), 間嶋(北陸電力), 内富(中国電力), 石井(四国電力), 佐野(日本原電) (計9名)
委員代理者：林(北海道電力・多田), 佐久間(東北電力・青木), 水口(九州電力・藤井), 市川(電源開発・須河内) (計4名)
オブザーバ：滝田(原子力安全基盤機構) (計1名)
事務局：福原, 長谷川(日本電気協会) (計2名)

4. 配付資料

- 資料 No.5-1 運転管理検討会 委員名簿(H18.5.24 現在)
- 資料 No.5-2 第3回 運転管理検討会 議事録(案)
- 資料 No.5-3-1 規程・指針等の体系概念の再検討について
- 資料 No.5-3-2 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程(仮称)(JEAC480X-200X)
- 資料 No.5-4 JEAG4802 原子力発電所運転員の教育・訓練指針 変更案

5. 議事

(1) 会議定足数の確認について

委員総数13名に対して本日の出席委員数は, 代理委員も含めて13名で検討会決議に必要な委員総数の2/3以上の出席が確認された。

(2) 代理参加者, 常時参加者およびオブザーバ参加者の承認について

本日, 代理出席の林氏(北海道電力・多田), 佐久間氏(東北電力: 常時参加者・青木), 水口氏(九州電力・藤井代理), 市川氏(電源開発・須河内代理)およびオブザーバ参加の滝田氏(原子力安全基盤機構)の会議参加に検討会主査から承認された。

(3) 前回議事録(案)の確認について

事務局より, 資料 No.5-2 に基づき, 前回の検討会議事録(案)が紹介され, 本内容について承認された。

(4) 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程(仮称) 策定案の検討

1) 体系の再検討

田中委員より, 資料 No.5-3-1 に基づき, これまでの検討会で確認していた規程・指針等の体系から, 前回検討会で議論された体系への変更について説明が行なわれ, 以下

の内容で了承された。

- ・ 運転責任者に関する記述は、指針から削除する。
- ・ 規程は、本文、解説等により必要な内容が盛り込まれるようにする。
- ・ 規程は、目的、適用範囲、定義・・・という構成とし、原子炉設置者と第三者機関の関係について明示する。

委員からの主な意見、コメントは以下のとおり。

合否判定等業務等に関する規程は、規程制定に伴ってどうなるのか。

国の動き（技術評価、告示の改廃等）をウォッチする必要がある、本規程の制定とは切り分けて考えるべき。

2) 運転責任者規程の検討

田中委員より、資料 No.5-3-2 に基づき、原子力発電所運転責任者の判定に係る規程（仮称）（案）のうち、本文が説明された。

議論の結果、委員からの意見、コメントを反映するとともに、各委員持ち帰り、コメントがあれば田中委員まで連絡することとして、次回検討会では、解説および付属書の内容も含めて検討することになった。

委員からの主な意見、コメントは以下のとおり。

原子炉設置者の記載が希薄である。判定機関と連携している記載ぶりにする。

適用範囲が、記載内容全体に網羅されていない。

法令に該当する部分を記載している。原案どおりとする。

3) 教育・訓練指針改定案の検討

田中委員より、資料 No.5-4 に基づき、JEAG4802-2002「原子力発電所運転員の教育・訓練指針」改定案が説明された。改定案は、運転責任者に関する部分を削除して、最新の知見を反映し、表現の見直し、用語の統一などを行なったものである。

議論の結果、委員からの意見、コメントは反映することとして、各委員持ち帰り、コメントがあれば田中委員まで連絡することとした。

委員からの主な意見、コメントは以下のとおり。

シミュレータの仕様は、判定機関がシミュレータを指定する際にも関係が出てくるので、BTC、NTCが仕様の確認を行ったときの状況を確認する。

運転責任者規程と同様、目的を記載する。

(5) その他

- 1) 次回検討会は、開催日・場所ともに別途調整する。議題は、継続して原子力発電所運転責任者の判定に係る規程（仮称）案の検討を行なう。
- 2) 次回運転・保守分科会の開催日は、8月10日（木）か、8月11日（金）のいずれかの予定である。運転責任者規程制定案の中間報告ができるように、分科会までに検討会開催はあと1、2回予定している。

以上